信長探訪倶楽部１月行事　北畠攻め　大河内城～田丸城へ

１２月は、「上洛戦」と銘うって、箕作城～観音寺城訪問の予定であったが、当日、近江は雪模様との情報から鈴鹿越えは危険と判断、急遽「北畠攻め」に変更、南は向かった。

大河内城は、南朝方北畠氏が北朝方に対抗するため築いた城で、大河内御所と称されていた。ここに信長が北伊勢攻めに続いて、南伊勢も平定するため攻め寄せてきた。隣の阿坂城が落城、大河内城も攻められたが、５０日間に及ぶ籠城に耐え、次男信雄を養子に迎えることで和睦した。

大河内城は、標高１１０m、３００m四方の縄張りで要害の地にあり、北畠氏の一大拠点であったことはよく分かる。しかし、信雄が居城を田丸城へ移したことにより、大河内城は廃城となった。

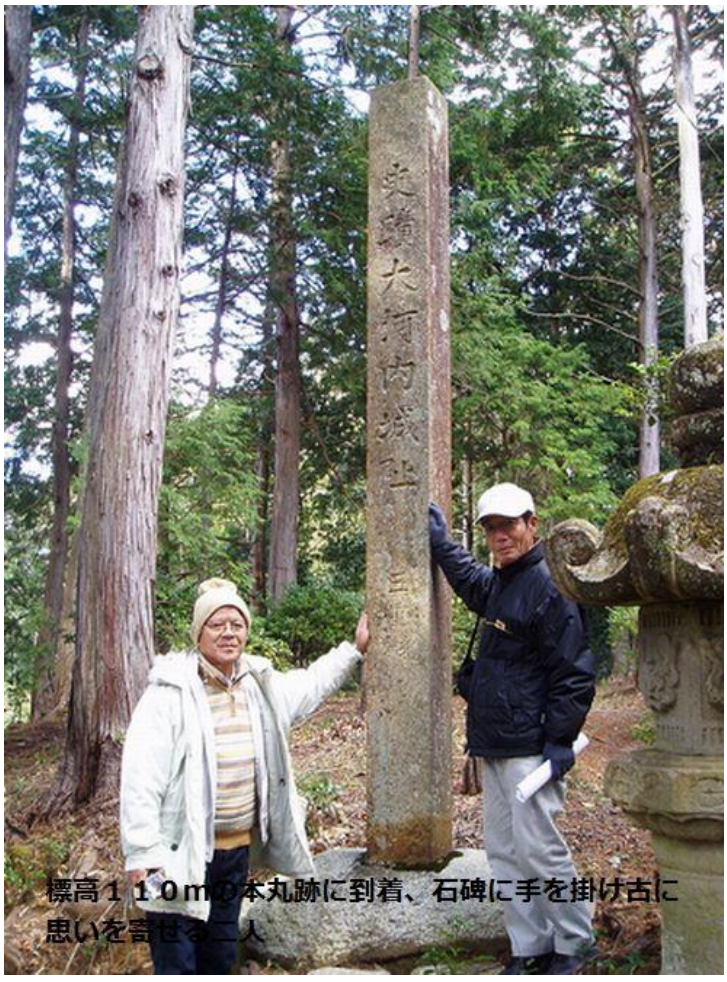
続いて、信雄が大修築した田丸城へ向かった。田丸城は北畠親房が築いた南朝方の拠点であった。こんなところにこんな城があるなんてと思ってしまう立派な城跡です。北畠氏が南伊勢でいかに力を持っていたかがよく分かります。まだ行かれたことのない方にはお薦めです。

帰りに近くにある「斎宮歴史博物館」に顔を出して、斎宮群行や斎宮生活のご苦労をしのばさせていただきました。

次回は、再度「上洛戦」と題して、箕作城～観音寺城を訪ねます。日程は、楠公民館入り口に貼り出しますので、参加希望の方はその日に顔を出してください。

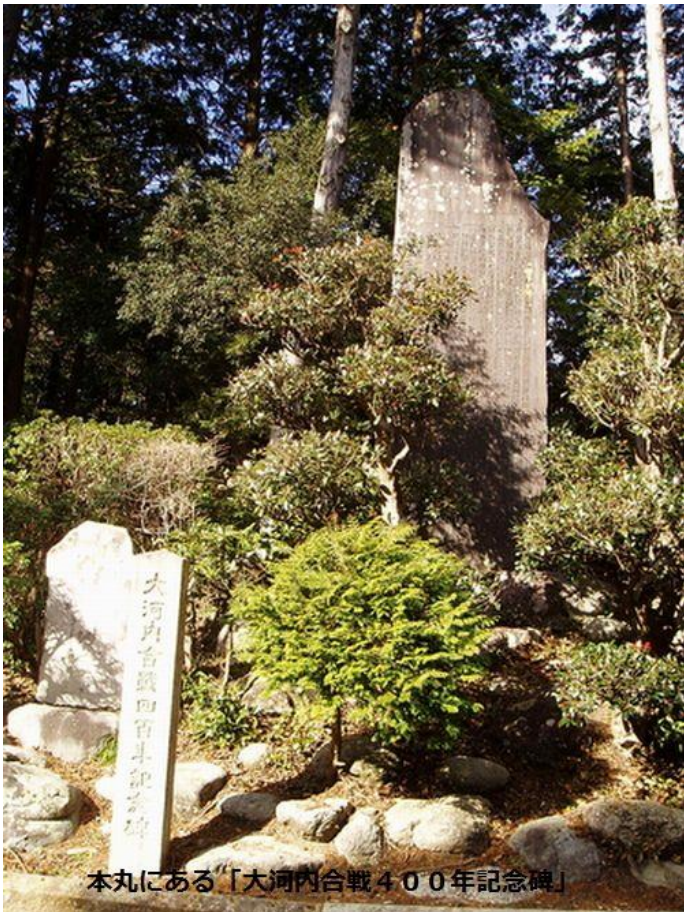
大河内市民地区センター前の大河内城跡案内看板前にて

大河内城跡のある山裾の田畑と家屋が石垣の上にあるのが特徴的な風景



標高１１０ｍの本丸跡に到着、石碑に手を掛け古に思いを寄せる二人

本丸、西の丸、二の丸、御納戸、馬場など巡り、
また城周りの深い谷を見て、信長が攻めあぐねた
理由を理解した



本丸にある"「大河内合戦４００年記念碑」

田丸城に到着、案内の看板前にて
団体に案内人の方が撮影してくれました

田丸城の天守台を背景にご満悦の３人

野面積みの石垣が美しい田丸城
ぜひ皆さんも一度訪れて下さい

遠くから見たとき、いつの間に城を再建したのと
驚いたが、実はライトアップのための仮り天守で
チョット興ざめでした